

(令和7年11月 協働・男女平等参画室作成)

●PRIDE指標 (一般社団法人「work with Pride」策定) とは

概要

企業・団体における性的マイノリティに関する取組を評価する指標

性的マイノリティの当事者が働きやすい職場づくりを応援することを目的

5つの評価指標

行動宣言

啓発活動

当事者
コミュニティ

人事制度
・プログラム

社会貢献・渉外活動

達成状況で認定

ゴールド (5項目達成)



シルバー (4項目達成)

ブロンズ (3項目達成)

「ゴールド認定」に加え、一定の要件(※)が必要

(※) 働きやすい職場づくりに向けた社内の取組に加え、学術機関・NPO/NGOなどセクターを超えた団体との協働によるLGBTQ+など性的マイノリティが自分らしく働ける職場・社会づくりの実現に向けた取組が求められる。

(令和7年認定結果)

レインボー認定 : 38団体

※自治体のレインボー認定は苫小牧市のみ

ゴールド認定 : 340団体

※自治体のゴールド認定は苫小牧市、富田林市

シルバー認定 : 53団体

ブロンズ認定 : 35団体

(参考) 自治体の過去の認定実績

レインボー認定

苫小牧市 (R6)、国立市 (R4・R5)

ゴールド認定

苫小牧市 (R6)、国立市 (R4・R5)、岡崎市 (R5)、富田林市 (R6)

●本市の主な取組

- ・苫小牧市パートナーシップ制度導入
- ・ALLY (アライ) 職員の宣誓制度
- ・男女共用更衣室、男女共用トイレの設置
- ・学校などでの出前授業の実施

- ・アイヴァン講演会の開催 (12月14日(日))
- ・職員用ガイドライン・職員向け行動指針の策定
- ・結婚休暇やダイバーシティ休暇などの制度整備
- ・当事者団体作成の冊子に市の取組を寄稿 (道内2000校などに配布) など